

凡例

- (1) 本書の対象は、狭義の漢文の訓読に限定し、漢詩の訓読は扱わない。ただし、例文などに些少の詩句を用いることもある。

- (2) 漢文訓読という一種の技術の習得に内容を限定し、歴史・思想・宗教など、漢文の文化背景については踏み込まない。

- (3) 文法用語は、できるかぎり生徒・学生に馴染みやすいよう英文法および文語文法の用語に限定し、漢文法に独特の用語はなるべく使わないようにした。

- (4) 句形については、否定形・使役形をはじめとする代表的な最小限の句形を用いるにとどめ、複雑な句形や詳細な注意を要する句形に関しては他書に譲ることとした。

- (5) 助字についての解説も必要最小限とし、同訓異義語の説明なども他書に譲ることとした。

- (6) 「訓讀」と「訓読み」については、送り仮名「み」の有無を以て表記を区別する。

目次

はじめに	i
凡例	ii
第一部 訓読の基礎		
第1講 漢文とは何か？ 対象としての漢文	2
第2講 訓読とは何か？ 方法としての訓読	8
第3講 漢字の発音1 音読み	11
第4講 漢字の発音2 調読み	15
◎第3・4講のまとめ 音読みと訓読みの使い分け	18
第5講 漢字の発音3 特殊な発音を持つ文字1 再読み文字	21
第6講 漢字の発音4 特殊な発音を持つ文字2 置き字	27
第二部 応用練習		
第17講 訓読の要領	92
第18講 常用漢語 訓読演習	95
第7講 文法の要点1 文型	102

解答・解答例
索引

第19講 三字表現・四字成語 訓読演習

第20講 短文 訓読演習

第21講 長文訓読 準備演習(1)

第22講 長文訓読 準備演習(2)

第二部 発展練習

〔訓読演習〕

第23講 長文訓読演習(1)

第24講 長文訓読演習(2)

第25講 長文訓読演習(3) 特殊問題

〔復文練習〕

第26講 復文の要領

〔復文用参考資料〕

第27講 復文練習(1) 基礎事項の確認

第28講 復文練習(2)

第29講 復文練習(3)

第30講 復文練習(4) 特殊問題

131 130 128 126 124 118

147 147 144 134

目 次

索引

〔事項索引〕

〔國版索引〕

〔人名・書名索引〕

漢文訓読入門

